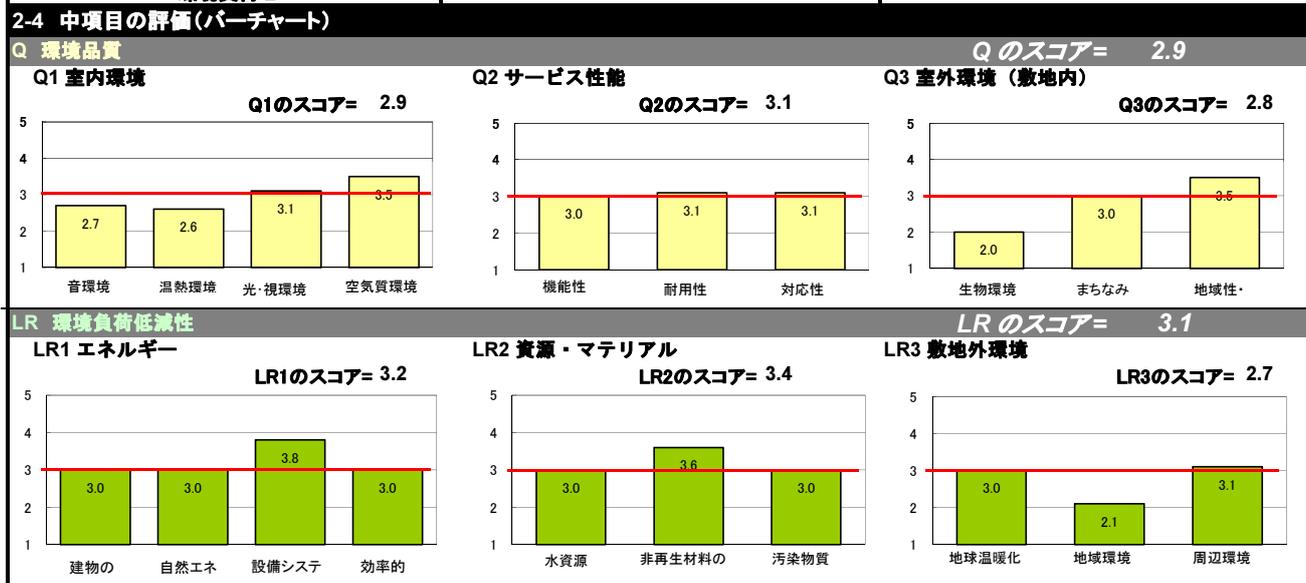
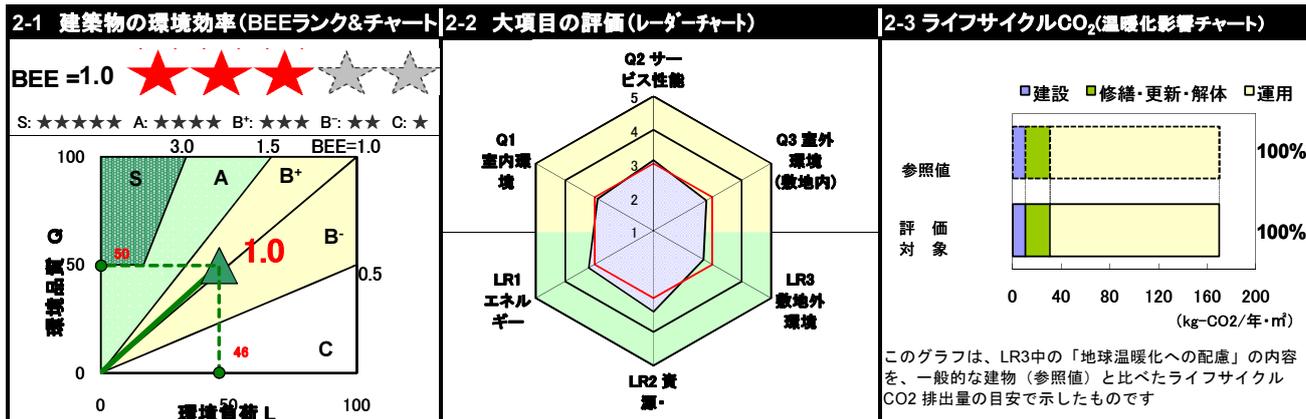


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(社)京都保健会 新病棟新築工事	階数	地上4F
建設地	京都市中京区西ノ京塚本町3-1,6-2	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	0人
気候区分		年間使用時間	0時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年8月 予定	評価の実施日	2010年8月23日
敷地面積	1,961 m ²	作成者	野口計画管理(株) 武居
建築面積	1,172 m ²	確認日	
延床面積	4,242 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
バリアフリー対応、省エネルギー化、敷地外の環境へ配慮した計画とした。		
Q1 室内環境 発砲ウレタン吹付により、外壁・屋根スラブの断熱を考慮。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材を使用。	Q3 室外環境 (敷地内) 適切な量の駐車・駐輪スペースを確保。
LR1 エネルギー 高効率の機器及び器具を採用することにより省エネルギー化を図った。	LR2 資源・マテリアル 内装一部にリサイクル商品を使用。	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される